

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	D-ソルビトール末		白	粉末	×	○	最小通過サイズ14Fr	D-ソルビトール経口液に変更
	KCL末		白	粉末	○			
	L-ケフレックス小児用顆粒			顆粒	×		胃溶性粒＋腸溶性粒	
	PL配合顆粒	合剤	白	粉末	○			
	PZC（ピー・ゼット・シー）糖衣錠	2mg	白	糖衣錠	○			
	SG配合顆粒	1g	白	顆粒	○			
	SM配合散	合剤	茶	粉末	○			
	TS1 配合カプセルT	20mg	白	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
		25mg	白/オレンジ	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	TS1 配合OD錠T	20mg	淡青緑	口腔内崩壊錠	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
		25mg	淡橙	口腔内崩壊錠	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	UFT 配合カプセルT	100mg	白	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	UFT E配合顆粒T	150mg	白	顆粒	×	×	抗がん剤	曝露防止策が必要。U F T 配合カプセルTへ変更
	アーチスト錠	1.25mg	黄	フィルムコーティング	○			
		2.5mg	白	フィルムコーティング	○			
		10mg	淡黄	フィルムコーティング	○			
	アーテン散	1%	白	粉末	○			
	アーテン錠	2mg	白	素錠	○			
	アイトロール錠	20mg	白	素錠	○			
	アカルディカプセル	1.25mg	橙	カプセル	○			
	アキネトン散	1%	白	粉末	○			
	アキネトン錠	1mg	白	素錠	○			
	アクトス錠	15mg	白	素錠	○			
	アサコール錠	400mg	茶	フィルムコーティング	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、病棟で破砕して投与可
	アザルフィジンEN錠	500mg	黄褐	フィルムコーティング	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、病棟で破砕して投与可
後発	アジルサルタン錠「武田テバ」	10mg	微黄赤	フィルムコーティング	○			（最大で）10分放置すれば投与可
		20mg	微赤	フィルムコーティング	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	アジルバ錠	10mg	微黄赤	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
		20mg	微赤	フィルムコーティング	○			
	アズノール錠	2mg	淡青	素錠	○			
	アスパラK錠	300mg	白	素錠	×	×		グルコンサンK細粒又はKCL末へ変更
	アスピリン原末		白	粉末	○			
	アスペノンカプセル	20mg	オレンジ	カプセル	○			
	アスベリン散	10%	オレンジ	粉末	○			
	アスベリン錠	20mg	オレンジ	素錠	○			
	アセトアミノフェン原末		白	粉末	○			
後発	アセトアミノフェン錠「マルイシ」	200mg	白	素錠	○			
後発		300mg	白	素錠	○			
後発		500mg	白	素錠	○			
	アゼプチン錠	1mg	白	糖衣錠	○			
後発	アソセミド錠「DSEP」	30mg	白	フィルムコーティング	○			
後発		60mg	淡黄	フィルムコーティング	△		砕く	病棟で破砕して投与可

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルワイディングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	アダプチノール錠	5mg	赤	糖衣錠	×	×	光に不安定	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	アダラートCR錠	20mg	赤	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉砕不可	他のC a拮抗薬へ変更
	アダラートL錠	20mg	赤	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉砕不可	他のC a拮抗薬へ変更
	アダラートカプセル	10mg	オレンジ	カプセル	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他のC a拮抗薬へ変更
	アタラックスPカプセル	25mg	緑	カプセル	○			
後発	アテノロール錠「トーワ」	50mg	白	フィルムコーティング	○			
	アデホスコーフ顆粒	1.0g/P	白	顆粒	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	アデホスコーフ腸溶錠	20mg	白	フィルムコーティング	×	×	腸溶性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	アデムパス錠	0.5mg	白	フィルムコーティング	○			
	アテレック錠	10mg	白	フィルムコーティング	○			
	アドシルカ錠	20mg	淡茶	フィルムコーティング	○			
	アドソルビン原末		淡灰	粉末	○			
	アドナ錠	10mg	オレンジ	素錠	○			
		30mg	オレンジ	素錠	○			
後発	アトルバスタチン錠「DSEP」	5mg	淡赤	フィルムコーティング	○			
後発		10mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	アトルバスタチン錠「日医工」	5mg	ごくうすい紅	フィルムコーティング	○			
後発		10mg	白	フィルムコーティング	○			
	アナフラニール錠	25mg	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
		10mg	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	アブレソリン錠	50mg	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
後発	アブレピタントカプセル「サワイ」	80mg	白	カプセル	○			
後発		125mg	淡赤/白	カプセル	○			
	アベロックス錠	400mg	淡灰赤	フィルムコーティング	○			
	アボルブカプセル	0.5mg	淡黄色	軟カプセル	△		①経皮吸収の恐れ（催奇形性あり） ②内包物が疎水性	経管投与の推奨せず やむを得ず投与する場合は、曝露防止策が必要
	アマリール錠	1mg	ピンク	素錠	○			
		3mg	淡黄	素錠	○			
後発	アミオダロン速崩錠「TE」	50mg	白	素錠	○			
後発		100mg	白	素錠	○			
	アミティーザカプセル	12μg	白色不透明	軟カプセル	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	アミティーザカプセル	24μg	淡橙	軟カプセル	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発	アムロジピンOD錠「サワイ」	2.5mg	淡橙	素錠（口腔内崩壊錠）	○			
後発		5mg	淡橙	素錠（口腔内崩壊錠）	○			
後発	アムロジピンOD錠「トーワ」	5mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
後発		2.5mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
後発	アムロジピンOD錠「明治」	2.5mg	淡黄	素錠	○			
後発		5mg	淡黄	素錠	○			
	アメナリーフ錠	200mg	淡黄	フィルムコーティング	○			
	アモキサнкаプセル	25mg	白/ピンク	カプセル	○			
	アモキサン細粒	10%	白	細粒	○			
後発	アモキシシリンカプセル「トーワ」	250mg	茶/白	カプセル	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルワイディングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	アモバン錠	10mg	白	フィルムコーティング	○			
	アリセプトD錠	3mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
		5mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	アリナミンF錠	25mg	黄	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	アリミデックス錠	1mg	白	フィルムコーティング	○			
	アルケラン錠	2mg	白	素錠	○			
	アルサルミン内用液	1g/10mL	白	液	○			
	アルダクトンA細粒	10%	白	細粒	○			
	アルダクトンA錠	25mg	白	素錠	○			
	アルタットカプセル	75mg	白	カプセル	×	△	内容物が徐放性	他のH ₂ 拮抗薬を推奨。（最大で）10分放置すれば投与可
	アルドメット錠	250mg	白	フィルムコーティング	○			
	アルファロールカプセル	0.25 μg	茶	カプセル	○			（最大で）10分放置すれば投与可。 アルファロール内用液またはワンアルファ錠0.5 μgも検討。
		1 μg	クリーム	カプセル	○			
	アレグラ錠	60mg	淡橙	フィルムコーティング	○			
	アレジオン錠	20mg	白	フィルムコーティング	○			
	アレジオンドライシロップ	1%	白	ドライシロップ	○			
	アレピアチン細粒	10%	白	細粒	○			
	アレピアチン錠	100mg	白	素錠	○			
	アレロックOD錠	5mg	淡橙	フィルムコーティング	○			
	アローゼン顆粒		黒	顆粒	×	○	最小通過サイズ14Fr	センノシド（調剤室粉砕）に変更
	アロフト錠	20mg	白	糖衣錠	○			
後発	アロプリノール錠「タナベ」	100mg	白	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	アロマシン錠	25mg	白	糖衣錠	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	アンカロン錠	100mg	白	素錠	○			
	アンギナール散		黄	粉末	○			
	アンコチル錠	500mg	白	素錠	○			
	アンブラーグ錠	100mg	白	フィルムコーティング	○			
	アンブリット錠	25mg	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
後発	アンブロキシソール塩酸塩錠「サワイ」	15mg	白	素錠	○			
後発	アンブロキシソール塩酸塩徐放OD錠「サワイ」	45mg	白	口腔内崩壊錠	×		徐放性、粉砕不可	アンブロキシソール塩酸塩錠に変更
	イーケブラ錠	500mg	淡黄	フィルムコーティング	○			
	イグザレルト錠	2.5mg	淡黄	フィルムコーティング	○			
		10mg	淡赤	フィルムコーティング	○			
		15mg	赤	フィルムコーティング	○			
	イグザレルトOD錠	10mg	白	口腔内崩壊錠	○			
		15mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発	イコサベント酸エチル粒状 カプセル「日医工」	900mg	透明	カプセル	○			
	イスコチン原末		白	粉末	○			
	イスコチン錠	100mg	白	素錠	○			
	イソプリノシン錠	400mg	白	素錠	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	イソミタール原末		白	粉末	○			
	イトリゾールカプセル	50mg	淡黄	カプセル	×	×		イトリゾール内用液に変更

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	イフェクサーSRカプセル	37.5mg	淡灰/淡紅	硬カプセル	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
		75mg	淡紅/淡紅	硬カプセル	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
後発	イミダプリル塩酸塩錠「トーフ」	5mg	白	素錠	△		砕く	病棟で破砕して、（最大で）10分放置すれば投与可
	イムラン錠	50mg	白	素錠	○			
	イメンドカプセル	80mg	白	カプセル	○			
		125mg	淡赤/白	カプセル	○			
	イリボー錠	5μg	淡黄	フィルムコーティング	○			
	イレッサ錠	250mg	茶	フィルムコーティング	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	インデラル錠	10mg	白	素錠	○			
	インヴェガ錠	3mg	白	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
		6mg	淡褐	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	インプロメン細粒		白	細粒	○			
	インチュニブ錠	1mg	淡緑白	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
		3mg	淡緑白	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	インフリーSカプセル	200mg	クリーム	カプセル	○			
	ウインタミン細粒	10%	白	細粒	○			
	ウインタミン錠	25mg	ピンク	糖衣錠	○			
	ウテメリン錠	5mg	白	フィルムコーティング	○			
	ウブトラビ錠	0.2mg	黄	フィルムコーティング	○			
	ウブレチド錠	5mg	白	素錠	○			
	ウラリット配合錠	合剤	白	素錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ウリトスOD錠	0.1mg	淡赤色～淡赤褐色 または淡赤紫色	口腔内崩壊錠	○			
	ウルグートカプセル	200mg	白	カプセル	○			
	ウルソ顆粒	5%	白	顆粒	○			
	ウルソ錠	100mg	白	素錠	○			
後発	ウルソデオキシコール酸錠「JG」	100mg	白	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発	ウルソデオキシコール酸錠「トーフ」	100mg	白	素錠	○			
	ウロカルン錠	225mg	黄	フィルムコーティング	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	エースコール錠	2mg	白	素錠	○			
	エカード配合錠LD	合剤	淡黄	素錠	○			
	エカード配合錠HD	合剤	淡紅	素錠	○			
	エクア錠	50mg	白	素錠	○			
	エクジェイド懸濁用錠	125mg	白	素錠	○			
	エクセグラン散	20%	白	粉末	○			
	エクセグラン錠	100mg	白	フィルムコーティング	○			
	エクメット配合錠LD	合剤	微黄	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	エクメット配合錠HD	合剤	淡黄	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	エサンプトール錠	250mg	黄	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可 潮解性のため、調剤室での粉砕不適
後発	エスタロプラムOD錠「トーフ」	10mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
後発	エスゾピクロン錠「トーワ」	1mg	白	フィルムコーティング	○			
	エストラサイトカプセル	156.7mg	白	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
後発	エゼチミブ錠「DSEP」	10mg	白	素錠	○			
後発	エソメブラゾールカプセル「ニプロ」	20mg	濃い青/ごくうすい黄赤	カプセル	○			(最大で) 10分放置すれば投与可
	エックスフォージ配合OD錠	合剤	白	口腔内崩壊錠	○			
	エックスフォージ配合錠	合剤	白	フィルムコーティング	○			
後発	エチゾラム錠「NIG」	1mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	エチゾラム錠「アメル」	0.5mg	白/淡黄白	フィルムコーティング	○			
後発		1 mg	白/淡黄白	フィルムコーティング	○			
	エディロールカプセル	0.75 μg	茶褐色	カプセル	○			
	エドルミズ錠	50mg	薄い黄	フィルムコーティング	○			
後発	エナブプリルマレイン酸塩錠「トーワ」	2.5mg	うすい桃	素錠	○			(最大で) 10分放置すれば投与可
		5mg	うすい桃	素錠	○			
	エバステル錠	10mg	白	フィルムコーティング	○			
	エパデールEMカプセル	2g	微黄～淡黄透明	軟カプセル	×			イコサペント酸エチル粒状カプセルへ変更
	エパデールSスティック	900mg	透明	カプセル	○			
	エピスタ錠	60mg	白	フィルムコーティング	○			
	エピビル錠	15mg	白	フィルムコーティング	○			
	エビプロスタット配合錠DB	合剤	白	フィルムコーティング	×	×	腸溶性、粉碎不可	簡易懸濁・粉碎による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	エビリファイ錠	3mg	青	素錠	○			
		6mg	白	素錠	○			
	エビリファイOD錠	6mg	白	素錠	○			
	エビリファイ内用液0.1%	3mg/3ml	無色透明	液	○			
	エビレオブチマル散	50%	白色	散剤	○			
	エフィエント錠	3.75mg	微赤白	フィルムコーティング	△	△	55℃のお湯で懸濁すると含量が低下する	常温の水で懸濁させる
		5mg	微黄赤	フィルムコーティング	△	△	55℃のお湯で懸濁すると含量が低下する	常温の水で懸濁させる
	エフィエントOD錠	20mg	微橙白	口腔内崩壊錠	○			
	エフメノカプセル	100mg	淡黄色	軟カプセル	×			
	エبرانチルカプセル	15mg	白(青線)	カプセル	×		徐放性顆粒製剤のため	他の同効薬(ウブレチド、ベサコリンなど)へ変更
	エベレンゾ錠	20mg	淡黄赤	フィルムコーティング	○			
		50mg	淡黄赤	フィルムコーティング	○			(最大で) 10分放置すれば投与可
	エホチール錠	5mg	白	素錠	○			
	エミレース錠	3mg	白	糖衣錠	○			
	エリキュース錠	2.5mg	黄	フィルムコーティング	○			
		5mg	桃	フィルムコーティング	○			
	エリスロシン錠	200mg	白	フィルムコーティング	×	×	腸溶性、粉碎不可	エリスロシンドライシロップへ変更
	エリスロシンドライシロップW	20%	白	ドライシロップ	○			
	エルカルチンFF内用液10%分包	5mL	無色～微黄色澄明	液	○			
		10mL	無色～微黄色澄明	液	○			
後発	エルデカルシトールカプセル「トーワ」	0.75 μg	茶褐透明	カプセル	×			簡易懸濁・粉碎による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	塩化カリウム		白	粉末	○			
	塩化カリウム徐放錠	600mg	白	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉碎不可	グルコンサンK細粒又はKCL末へ変更
	塩化ナトリウム		白	粉末	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セリウムチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	塩酸バンコマイシン散	500mg	白	粉末	○			
	塩酸プロカルバジンカプセル	50mg	黄	カプセル	○			
	エンタカボン錠「サンド」	100mg	うすい黄赤〜くすんだ黄赤	フィルムコーティング	○			
後発	エンテカビル錠「YD」	0.5mg	白〜微黄白	フィルムコーティング	○			
後発	エンテカビル錠「トーフ」	0.5mg	白〜微黄白	フィルムコーティング	○			
	エンドキサン錠	50mg	白	糖衣錠	×	×	抗がん剤 55℃→安定性に問題あり	曝露防止策が必要 簡易懸濁・粉碎による本剤の投与は困難
	エンレスト錠	50mg	青紫白色	フィルムコーティング	△		砕く	調剤時に粉碎、懸濁後10分放置すれば投与可
		100mg	微黄	フィルムコーティング	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉碎すれば投与可
	オーグメンチン配合錠250R S	合剤	白	フィルムコーティング	○			潮解性のため、調剤室での粉碎不適
	オーラノフィン錠	3mg	白〜帯黄白	フィルムコーティング	○			
		5mg	白	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉碎不可	
	オキシコンチンTR錠	20mg	淡赤色	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉碎不可	
		40mg	微黄白〜淡黄	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉碎不可	
	オゼックス錠	150mg	白	フィルムコーティング	○			
	オゼックス小児用細粒	15%	淡ピンク	細粒	○			
	オダイン錠	125mg	白	素錠	○			
	オノンカプセル	112.5mg	白	カプセル	○			
	オノンドライシロップ	10%	淡黄	ドライシロップ	○			
	オメプラール錠	20mg	白	フィルムコーティング	△	△	腸溶性、粉碎不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、病棟で破碎して投与可 他のPPI製剤へ変更
	オラビ錠口腔用	50mg	白〜微黄	付着錠	×	×	口腔用製剤	
後発	オラペナム小児用細粒	10%	ピンク	細粒	○			
後発	オランザピンOD錠「トーフ」	2.5mg	淡黄白	口腔内崩壊錠	○			
後発	オランザピンOD錠「明治」	5mg	黄	素錠	○			
	オルケディア錠	1mg	黄白	フィルムコーティング	○			
		2mg	淡黄	フィルムコーティング	○			
	オルミエント錠	2mg	淡赤白	フィルムコーティング	○			
		4mg	赤白	フィルムコーティング	○			
後発	オルメサルタンOD錠「DSEP」	10mg	白色〜微黄白色	素錠	○			
後発		20mg	白色〜微黄白色	素錠	○			
後発	オルメサルタンOD錠「トーフ」	20mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	オルメテック錠	20mg	白	素錠	○			
	オルメテックOD錠	20mg	白	素錠	○			
後発	オロパタジン塩酸塩OD錠「サワイ」	5mg	ごくうすい赤	素錠	○			
	オンジェンティス錠	25mg	淡赤	フィルムコーティング	○			
	ガスコン錠	40mg	白	素錠	○			
	ガスターD錠	10mg	白	口腔内崩壊錠	○			
		20mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	ガスター散	10%	白	粉末	○			
	ガストローム顆粒	66.70%	白	顆粒	×	×		他の防御因子増強薬（レバミピドなど）へ変更
	ガスモチン散	1%	白	粉末	○			
	ガスモチン錠	5mg	白	フィルムコーティング	○			
	カソデックスOD錠	80mg	白	フィルムコーティング	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	カタプレス錠	75μg	白	素錠	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セイルマシフチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	カナグル錠	100mg	うすい黄	フィルムコーティング	○			
	ガナトン錠	50mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	カナマイシンカプセル「明治」	250mg	淡黄	カプセル	○			
	カバサル錠	0.25mg	白	素錠	○			
		1mg	白	素錠	○			
	ガパベン錠	200mg	白	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	カフェイン		白	粉末	○			
	カプトリル錠	12.5mg	白	素錠	○			
後発	カモスタットメシル塩酸塩錠「トーワ」	100mg	白～微黄	フィルムコーティング	○			
	カリメート経口液20%	25g	微黄白～淡黄	液	×	○		
	カリメート散		白	粉末	○			
	カルグート錠	5mg	白	素錠	○			
	カルスロット錠	10mg	淡黄	素錠	○			
		20mg	淡橙黄	素錠	○			
	カルデナリンOD錠	1mg	淡黄	素錠	○			
		2mg	淡橙	素錠	○			
	カルナクリンカプセル	25mg	オレンジ/白	カプセル	×	×	内容物が徐放性	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
後発	カルバマゼピン錠「アメル」	100mg	白～微黄白	素錠	○			
	カルビスケン錠	5mg	白	素錠	○			
	カルブロック錠	8mg	黄	素錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
後発	カルベジロール錠「サワイ」	1.25mg	黄	フィルムコーティング	○			
後発		2.5mg	白～微黄	フィルムコーティング	○			
後発		10mg	黄	フィルムコーティング	○			
後発	カルベジロール錠「トーワ」	1.25mg	黄	フィルムコーティング	○			
		2.5mg	白～微黄白	フィルムコーティング	○			
		10mg	黄	フィルムコーティング	○			
後発	カルボシステイン錠「トーワ」	250mg	白	フィルムコーティング	○			
	カログラ錠	120mg	白/帯黄白～帯黄緑白	フィルムコーティング	○			(最大で) 10分放置すれば投与可
	カロナール錠	200mg	白	素錠	○			
後発	カンデサルタン錠「あすか」	4mg	白	素錠	○			
後発		8mg	うすいだいだい	素錠	○			
後発	カンデサルタン錠「ファイザー」	4mg	白色～帯黄白	素錠	○			
後発		8mg	白色～帯黄白	素錠	○			(最大で) 10分放置すれば投与可
後発	カンデサルタンOD錠「サワイ」	4mg	白色～帯黄白	口腔内崩壊錠	○			
後発		8mg	ごくうすい黄色	口腔内崩壊錠	○			
後発	カンデサルタンOD錠「トーワ」	4mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発		8mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	キネダック錠	50mg	白	フィルムコーティング	○			
	キプレス細粒	4mg	白	細粒	○			
	キプレスチュアブル錠	5mg	淡赤	チュアブル錠	○			
	ギャバロン錠	5mg	白	素錠	○			
	クービピック錠	25mg	淡紫～紫色	フィルムコーティング	○			
	グーフィス錠	5mg	淡黄	フィルムコーティング	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セリウムチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
後発	クエチアピン錠「DSEP」	25mg	うすい赤	フィルムコーティング	○			
後発		100mg	うすい黄	フィルムコーティング	○			
後発	クエチアピン錠「トーフ」	100mg	うすい黄	フィルムコーティング	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発		25mg	うすい黄みの赤	フィルムコーティング	○			
後発	クエン酸第一鉄Na錠「サワイ」	50mg	白	フィルムコーティング	△	△	砕く、フェロミア顆粒の方が投与しやすい	病棟で破砕して投与可or長時間放置する
	グラクディブ錠	50mg	淡黄赤	フィルムコーティング	○			
	グラケーカプセル	15mg	オレンジ	カプセル	○			
	グラセブターカプセル	0.5mg	淡黄/橙	カプセル	○			
	クラビット錠	250mg	黄	フィルムコーティング	○			
	グラマリール細粒	10%	白～微帯黄白	細粒	×	×		グラマリール錠へ変更
	グラマリール錠	25mg	白	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
		50mg	白	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	クラリス錠	200mg	白	フィルムコーティング	○			
	クラリスドライシロップ	10%	微赤白	ドライシロップ	○			
後発	クラリスロマイシンDS小児用「タカタ」	10%	微黄白～微褐色	微粒又は粉末	○			
後発	クラリスロマイシン錠「タカタ」	200mg	白	フィルムコーティング	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発	クラリスロマイシン錠「大正」	200mg	白	フィルムコーティング	△	△		病棟で破砕して投与可
	クラリチン錠	10mg	白	素錠	○			
	グランダキシン錠	50mg	白	素錠	○			
	クリキシバンカプセル	200mg	白	カプセル	○			
	グリチロン配合錠	合剤	白	糖衣錠	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	クリノリル錠	100mg	オレンジ	素錠	○			
	グリベック錠	100mg	茶	フィルムコーティング	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	グリミクロン錠	40mg	白	素錠	○			
	グルコンサンK細粒		白	細粒	○			
	グルファスト錠	10mg	白	素錠	○			
	グルファストOD錠	10mg	微黄白	素錠	○			
	クレストール錠	2.5mg	黄	フィルムコーティング	○			
		5mg	黄	フィルムコーティング	○			
	クレメジン細粒分包	2 g	黒	細粒	○			
	クレメジン速崩錠	500mg	黒	素錠	○			顆粒が沈殿しやすい為軽く振とうしながら行う
後発	クロピドグレル錠「SANIK」	25mg	白～微黄白	フィルムコーティング	○			
後発		75mg	白～微黄白	フィルムコーティング	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	ケーサブライ	600mg	白	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉砕不可	グルコンサンK細粒又はKCL末へ変更
	ケーワン錠	5mg	黄	素錠	○			
	ケイキサレート散	5g	オレンジ	粉末	○			
	ケイキサレートドライシロップ7.6%	764.5mg/	黄褐色	ドライシロップ	○			
	ケタスカプセル	10mg	白	カプセル	×	×	徐放性、腸溶性	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ケフラールカプセル	250mg	白・青	カプセル	○			
	ケフラール細粒小児用	100mg	うすい黄	細粒	○			
	ケフレックスカプセル	250mg	白～淡黄白	カプセル	○			
	コートリル錠	10mg	白	素錠	○			
	コートン錠	25mg	白	素錠	○			
	コスパノンカプセル	40mg	白/紅	カプセル	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セリウムチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	コディオ配合錠EX	合剤	薄赤	フィルムコーティング	○			
	コディオ配合錠MD	合剤	薄赤	フィルムコーティング	○			
	コニール錠	4mg	黄	フィルムコーティング	○			
	コベガス錠	200mg	淡赤	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	コムタン錠	100mg	オレンジ	フィルムコーティング	○			
	コメリアンコーワ錠	50mg	白	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	コラン錠	2.5mg	うすい灰色	フィルムコーティング	○			
	コランチル配合顆粒	合剤	白	顆粒	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	コルヒチン錠	0.5mg	青	素錠	○			
	コルベット錠	25mg	白	フィルムコーティング	○			
	コレバイン錠	500mg	白	フィルムコーティング	○			
	コントミン糖衣錠	25mg	白	糖衣錠	○			
	サーカネッテン配合錠	合剤	黒	糖衣錠	○			
	サアミオン錠	5mg	白	フィルムコーティング	○			
	ザイザル錠	5mg	白	フィルムコーティング	○			
	サイトテック錠	200mg	白	素錠	○			
	ザイボックス錠	600mg	白	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	サイレース錠	2mg	白	素錠	○			
	サインバルタカプセル	20mg	ピンク./白	カプセル	×	×	内容物が腸溶性	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
後発	酢酸亜塩錠「ノーベル」	25mg	白	フィルムコーティング	○			(最大で) 10分放置すれば投与可
	ザジテンカプセル	1mg	白	カプセル	○			
	ザジテンドライシロップ	0.10%	白	ドライシロップ	○			
	サムスカ錠	7.5mg	青	素錠	○			
		15mg	青	素錠	○			
	サムスカOD錠	7.5mg	青	素錠	○			
	サラジェン錠	5mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	サラゾスルファピリジン腸溶錠「日医工」	500mg	黄～黄褐	フィルムコーティング	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、調剤時に破砕すれば投与可
	サラゾピリン錠	500mg	暗オレンジ	素錠	○			
	サリグレンカプセル	30mg	白/黄	カプセル	○			
	サレドカプセル	100mg	白/橙	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	サワシリンカプセル	250mg	白/茶	カプセル	○			
	サワシリン細粒	10%	うすいだいたい	細粒	○			
後発	酸化マグネシウム錠「ケンエー」	330mg	白	素錠	○			
後発		500mg	白	素錠	○			
後発	酸化マグネシウム錠「ヨシダ」	330mg	白	素錠	○			
後発		500mg	白	素錠	○			
	ザンタック錠	150mg	白	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可or他の同効薬(ファモチジンD錠)へ変更
	サンリズムカプセル	50mg	白/青	カプセル	○			
	シーピー配合顆粒		黄色	顆粒	○			
	ジェイソロフト錠	25mg	白	フィルムコーティング	○			
		50mg	白	フィルムコーティング	○			
	ジェイソロフトOD錠	25mg	白	口腔内崩壊錠	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルワイディングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ジェニナック錠	200mg/g	オレンジ	フィルムコーティング	○			
後発	ジエノゲスト錠「キッセイ」	1mg	白	フィルムコーティング	○			
	シグマート錠	5mg	白	素錠	○			
後発	シクロスボリンカプセル「トーワ」	25mg	黄白	カプセル	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
後発		50mg	淡黄白					
	ジゴキシン錠	0.25mg	白	素錠	○			
	ジゴシン散	0.10%	白	粉末	○			
	ジスロマック細粒小児用	10%	淡オレンジ	細粒	○			
	ジスロマック錠	250mg	白	フィルムコーティング	○			
	ジスロマックカプセル小児用	100mg	白/橙	カプセル	○			
	ジスロマックSR成人用ドライシロップ	2g	白	粉末または粒	○			
	シナール配合顆粒	合剤	淡黄	顆粒	○			
	シナール配合錠	合剤	淡黄	素錠	○			
	ジヒデルゴット錠	1mg	白	素錠	○			
	ジフルカンカプセル	100mg	橙	カプセル	×	×	水に不溶	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ジブレキサ錠	2.5mg	白	フィルムコーティング	○			
		5mg	白	フィルムコーティング	○			
		10mg	白	フィルムコーティング	○			
	ジブレキサザイデイス錠	2.5mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
		5mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
	シプロキサノン錠	100mg	白	フィルムコーティング	○			
		200mg	白～淡黄	フィルムコーティング	○			
	シベノール錠	50mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	ジメチコン錠「YD」	40mg	白	素錠	○			
	ジャディアンス錠	10mg	淡黄色	フィルムコーティング	○			
	ジャドニユ顆粒分包	90mg	白	顆粒	○			
	ジャヌビア錠	50mg	薄赤黄	フィルムコーティング	○			
	シュアポスト錠	0.25mg	淡赤	素錠	○			
		0.5mg	白	素錠	○			
	重カマ「ヨシダ」		白	粉末	×	○	最小通過サイズ14Fr	
後発	シロスタゾールOD錠「サワイ」	50mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発	シロスタゾールOD錠「トーワ」	50mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発	シロドシンOD錠「KMP」	4mg	淡黄赤色	口腔内崩壊錠	○			
	ジルテック錠	10mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	ジルチアゼム塩酸塩徐放カプセル「日医工」	100mg	白	硬カプセル	×		徐放性	
	シングレア錠	10mg	灰黄	フィルムコーティング	○			
	シングレアOD錠	10mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	シンメトレル細粒	10%	白	細粒	○			
	シンメトレル錠	50mg	白	フィルムコーティング	○			
	スーグラ錠	50mg	淡紫	フィルムコーティング	○			
	スーテントカプセル	12.5mg	赤褐	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	スインプロイク錠	0.2mg	黄	フィルムコーティング	○			
後発	スクラルファート内用液10%「タイヨー」	1g/10mL	白	液	○			
	スタラシドカプセル	50mg	白/紫	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	スタレボ配合錠L	50mg	赤褐	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
		100mg	赤褐	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ストロカイン錠	5mg	白	素錠	○			
	ストロメクトール錠	3mg	白	素錠	○			
後発	スピロノラクトン錠「トーフ」	25mg	白	素錠	○			
	スピロペント錠	10μg	白	素錠	○			
	スプリセル錠	20mg	白	フィルムコーティング	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
		50mg	白	フィルムコーティング	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	スローケー錠	600mg	白	糖衣錠	×	×	徐放性、粉碎不可	グルコンサンK細粒又はKCL末へ変更
	セイブル錠	50mg	白	フィルムコーティング	○			
	セスデнкаプセル	30mg	白/オレンジ	カプセル	○			
	ゼスラン錠	3mg	白	素錠	○			
	ゼチーア錠	10mg	白	素錠	○			
	セディール錠	10mg	白	フィルムコーティング	○			
	セバゾン散	1%	白	粉末	○			
	セバゾン錠	1mg	白	素錠	○			
	セパミットR細粒	2%	淡黄	細粒	○			
	セファドール錠	25mg	白	フィルムコーティング	○			
	セファランチン錠	1mg	白	素錠	○			
	ゼフィックス錠	100mg	淡橙褐	フィルムコーティング	○			
後発	セフカベンピボキシル塩酸塩錠「サワイ」	100mg	うすい赤	フィルムコーティング	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	セフゾンカプセル	100mg	ピンク	カプセル	○			
	セフゾン細粒小児用	10%	淡赤白	細粒	○			
	セララ錠	25mg	淡黄	フィルムコーティング	○			
	セルシン錠	2mg	白	素錠	○			
	セルセプトカプセル	250mg	淡青/淡赤茶	カプセル	○			
	セルニルトン錠	63mg	淡緑	素錠	△	△	砕く	病棟で破砕して、（最大で）10分放置すれば投与可
	セルベックスカプセル	50mg	緑/白	カプセル	○			
	セルベックス細粒	10%	白	細粒	○			
	ゼルヤンツ錠	5mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	セレコキシブ錠「DSEP」	100mg	白	素錠	○			
後発		200mg	白	素錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
後発	セレコキシブ錠「VTRS」	100mg	白	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発		200mg	白	素錠	△		砕く	病棟で破砕して、（最大で）10分放置すれば投与可
	セレコックス錠	100mg	白	素錠	○			
		200mg	白	素錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	セレジスト錠	5mg	白	素錠	○			
	セレスタミン配合錠	合剤	白	素錠	○			
	セレナール錠	10mg	白	糖衣錠	○			
	セレニカR細粒	40%	白	細粒	×	×	徐放性	バルプロ酸ナトリウムシロップへ変更
	セレネース細粒	1%	白	細粒	○			
	セレネース錠	0.75mg	白	素錠	○			
		1mg	白	糖衣錠	○			
		3mg	白	糖衣錠	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セリウムチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ゼローダ錠	300mg	白	フィルムコーティング	△	△	抗がん剤、砕く	曝露防止策が必要 病棟で破砕して投与可
	セロクエル錠	25mg	ピンク	フィルムコーティング	○			
		100mg	黄	フィルムコーティング	○			
	セロクラール錠	20mg	白	素錠	○			
	セロケンL錠	120mg	白	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉碎不可	セロケン錠へ変更
	セロケン錠	20mg	白	フィルムコーティング	○			
	ゼンタコートカプセル	3mg	うすい灰/くすんだ黄赤	硬カプセル	×	×		他のステロイド薬に変更
後発	センノシド錠「サワイ」	12mg	桃色	糖衣錠	△		砕く	病棟で破砕して投与可
後発	センノシド錠「トーワ」	12mg	茶褐	糖衣錠	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉碎すれば投与可
後発	センノシド錠「NIG」	12mg	暗赤	糖衣錠	×			調剤時に粉碎すれば投与可
	ゾーミッグRM錠	2.5mg	乳白 様白	素錠	○			
	ソセゴン錠	25mg	白	フィルムコーティング	○			
	ソタコール錠	40mg	微青	素錠	○			
	ゾフルーザ錠	10mg	白～淡黄白	素錠	○			
	ゾフルーザ錠	20mg	白～淡黄白	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	ソラナックス錠	0.4mg	白	素錠	○			
	ソランタール錠	100mg	白	フィルムコーティング	○			
	ソリター-T配合顆粒2号	合剤	白	顆粒	○			
	ソリター-T配合顆粒3号	合剤	白色	顆粒剤	○			
後発	ソリフェナシニコハク酸塩OD錠「JG」	2.5mg	白色	口腔内崩壊錠	○			
後発	ソリフェナシニコハク酸塩OD錠「JG」	5mg	帯黄白	口腔内崩壊錠	○			
後発	ゾルピデム酒石酸塩OD錠「トーワ」	5mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
	ダーブロック錠	2mg	黄	フィルムコーティング	○			
		4mg	白	フィルムコーティング	○			
	ダイアート錠	30mg	白	フィルムコーティング	○			
		60mg	淡黄	フィルムコーティング	○			
	ダイアモックス錠	250mg	白	素錠	○			
	ダイドロネル錠	200mg	白	素錠	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉碎すれば投与可
後発	ダイフェン配合錠	合剤	白	素錠	○			
	タガメット錠	200mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	タクロリムスカプセル「ニプロ」	0.5mg	淡黄	カプセル	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発		1mg	白	カプセル	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	タケキャブ錠	10mg	微黄	フィルムコーティング	○			
		20mg	微赤	フィルムコーティング	○			
	タケブロンOD錠	15mg	白・赤橙の斑点	口腔内崩壊錠	△	△	55℃のお湯で懸濁すると粒が残り、詰まりやすい	常温の水で懸濁させる、8Frはタケキャブへの変更を検討
		30mg	白・赤橙の斑点	口腔内崩壊錠	△	△	55℃のお湯で懸濁すると粒が残り、詰まりやすい	常温の水で懸濁させる、8Frはタケキャブへの変更を検討
	タシグナカプセル	200mg	黄赤	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	タチオン錠	50mg	白	糖衣錠	○			
		100mg	白	糖衣錠	○			
	タナドーパ顆粒	750mg/ g	白	顆粒	×	×		簡易懸濁による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	タナトリル錠	5mg	白	素錠	○			
	タブネオスカプセル	10mg	不透明な橙/ 不透明な黄	カプセル	○			
	タベジール錠	1mg	白	素錠	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルワイディングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	タミフルカプセル	75mg	灰/黄	カプセル	○			
	タミフルドライシロップ	3%	白	ドライシロップ	○			
後発	タムスロシン塩酸塩OD錠「サワイ」	0.2mg	白	口腔内崩壊錠	×		徐放性、粉碎不可	他の同効薬(シロドシン)へ変更
後発	タムスロシン塩酸塩OD錠「トーワ」	0.2mg	白	口腔内崩壊錠	×		徐放性、粉碎不可	他の同効薬(シロドシン)へ変更
後発	タムスロシン塩酸塩OD錠「ファイザー」	0.1mg	白	口腔内崩壊錠	×		徐放性、粉碎不可	他の同効薬(シロドシン)へ変更
	ダラシнкаプセル	150mg	肌/オレンジ	カプセル	○			
	タリージェ錠	2.5mg	淡赤白	フィルムコーティング	○			
		5mg	赤白	フィルムコーティング	○			
		10mg	淡赤白	フィルムコーティング	○			(最大で)10分放置すれば投与可
		15mg	赤白	フィルムコーティング	○			(最大で)10分放置すれば投与可
		5mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	タリージェOD錠	10mg	淡黄白	口腔内崩壊錠	○			
	タリオンOD錠	10mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	タルセバ錠	100mg	白	フィルムコーティング	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
		150mg	白	フィルムコーティング	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	炭カル錠	500mg	白	素錠	○			(最大で)10分放置すれば投与可
	炭酸水素ナトリウム		白	粉末	○			
後発	炭酸ランタンOD錠「FCI」	250mg	白	素錠	○			
後発	炭酸ランタンOD錠「JG」	250mg	白～灰白	口腔内崩壊錠	○		残渣が溜まりやすい	
後発	炭酸リチウム錠「ヨシトミ」	200mg	白	フィルムコーティング	×	×		簡易懸濁による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ダントリウムカプセル	25mg	オレンジ	カプセル	○			
	タンニン酸アルブミン		茶	粉末	○			
	タンボコール錠	50mg	白	素錠	○			
	チオラ錠	100mg	白	糖衣錠	×	×		簡易懸濁による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	チガソнкаプセル	25mg	茶褐	カプセル	△	△	催奇形性あり	曝露防止策が必要
	チョコラA末	1万単位/g	茶	粉末	○			
	チラーヂンS散	0.01%	白	粉末	○			
	チラーヂンS錠	25μg	淡紅	素錠	○			
		50μg	白	素錠	○			
	沈降炭酸カルシウム		白	粉末	○			
	ツートラム錠	50mg	淡黄と白	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉碎不可	
		100mg	淡紅と白	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉碎不可	
		150mg	淡橙と白	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉碎不可	
	ツルバダ配合錠	合剤	青	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ディオバン錠	40mg	白	フィルムコーティング	○			
		80mg	白	フィルムコーティング	○			
	デエビゴ錠	2.5mg	淡赤	フィルムコーティング	○			
		5mg	微赤黄	フィルムコーティング	○			
	テオドール錠	50mg	白	徐放錠	×	×	徐放性、粉碎不可	
		200mg	白	徐放錠	×	×	徐放性、粉碎不可	
	テオドールドライシロップ	200mg/g	白	ドライシロップ	○			
	テオロング錠	100mg	白	徐放錠	×	×	徐放性、粉碎不可	

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	デカドロン錠	0.5mg	白	素錠	○			
		4mg	淡赤	素錠	○			
後発	デキストロメトルフアン錠「NP」	15mg	白	素錠	○			
	テグレトール細粒	50%	白	細粒	○			
	テグレトール錠	100mg	白	素錠	○			
	デザレックス錠	5mg	うすい赤	フィルムコーティング	○			
	デタントールR錠	3mg	白	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉碎不可	デタントール錠に変更
	デタントール錠	1mg	白	糖衣錠	○			
	テトラミド錠	10mg	白	フィルムコーティング	○			
	テネリア錠	20mg	うすい赤	フィルムコーティング	○			
	テノーミン錠	25mg	白	フィルムコーティング	○			
		50mg	白	フィルムコーティング	○			
	デノタスチュアブル配合錠	合剤	白	チュアブル錠	○			
	デパケンR錠	200mg	白	糖衣錠	×	×	徐放性、粉碎不可	バルプロ酸ナトリウムシロップへ変更
	デパス細粒	1%	白	細粒	○			
	デパス錠	0.5mg	白	フィルムコーティング	○			
		1mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	テブレノンカプセル「トーフ」	50mg	灰青緑/淡橙	硬カプセル	○			
	テモダールカプセル	20mg	白	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
		100mg	白	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	デュファストン錠	5mg	白	素錠	○			
後発	デュロキセチンOD錠「ニプロ」	20mg	僅かな黄褐色～赤褐色 の斑点を有する白	口腔内崩壊錠	△	△	腸溶性、粉碎不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、調剤時に粉碎すれば投与可
後発	デュロキセチンOD錠「明治」	20mg	僅かな黄褐色～赤褐色 の斑点を有する白	口腔内崩壊錠	△	△	腸溶性、粉碎不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いていれば、調剤時に粉碎すれば投与可
	テラナス錠	5mg	白	素錠	○			
	テラビック錠	250mg	白	フィルムコーティング	○			
	テルネリン錠	1mg	白	素錠	○			
後発	テルピナフィン錠「ファイザー」	125mg	白～淡黄白	素錠	○			
後発	テルミサルタン錠「YD」	20mg	白～微黄	素錠	○			
後発		40mg	白～微黄	素錠	○			
後発		80mg	白～微黄	素錠	○			
後発	テルミサルタン錠「サワイ」	20mg	白	フィルムコーティング	○			
後発		40mg	白	フィルムコーティング	○			
後発		80mg	白	フィルムコーティング	△	△	碎く	病棟で破砕して投与可、（最大で）10分放置すれば投与可
後発	テルミサルタンOD錠「サワイ」	20mg	白～微黄	素錠	○			
後発		40mg	白～微黄	素錠	○			
後発	テルミサルタンOD錠「トーフ」	40mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
後発	トアラセット配合錠「DSEP」	合剤	淡黄	フィルムコーティング	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発	トアラセット配合錠「トーフ」	合剤	淡黄	フィルムコーティング	○			
後発	トアラセット配合錠「日本臓器」	合剤	淡黄	フィルムコーティング	○			
後発	トアラセット配合錠「三笠」	合剤	淡黄	フィルムコーティング	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	トウモロコシデンブン		白	粉末	○			
	ドグマチールカプセル	50mg	白	カプセル	○			
	ドグマチール細粒	50%	白	細粒	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ドグマチール錠	50mg	白～帯黄白	フィルムコーティング	○			(最大で) 10分放置すれば投与可
		200mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	トコフェロールニコチン酸エステルカプセル「トーワ」	100mg	頭部:赤 胴部:黄	カプセル	○			
後発	ドネペジル塩酸塩OD錠「DSEP」	3mg	黄	□腔内崩壊錠	○			
後発		5mg	白	□腔内崩壊錠	○			
後発	ドネペジル塩酸塩OD錠「サワイ」	3mg	黄	□腔内崩壊錠	○			
後発		5mg	白	□腔内崩壊錠	○			
後発	ドネペジル塩酸塩OD錠「トーワ」	3mg	黄	□腔内崩壊錠	○			
後発		5mg	白	□腔内崩壊錠	○			
	トピナ錠	50mg	白	素錠	○			
	ドブスカプセル	200mg	白	カプセル	○			
	ドブスOD錠	200mg	白	□腔内崩壊錠	○			
	トフラニール錠	10mg	あすき	糖衣錠	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
		25mg	あすき	糖衣錠	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ドラール錠	15mg	淡橙	素錠	○			
	トラクリア錠	62.5mg	淡ピンク	フィルムコーティング	○			
後発	トラセミドOD錠「TE」	4mg	白	□腔内崩壊錠	○			
	トラゼンタ錠	5mg	淡赤	フィルムコーティング	○			
後発	トラゾドン塩酸塩錠「アメル」	25mg	白～淡黄白	フィルムコーティング	○			
後発	トラネキサム酸カプセル「トーワ」	250mg	橙～淡黄	カプセル	○			
	トラゼンタ錠	5mg	淡赤	フィルムコーティング	○			
	トラベルミン配合錠	合剤	白	有核錠	○			
	トラマールOD錠	25mg	白	□腔内崩壊錠	○			
		50mg	白	□腔内崩壊錠	○			
後発	トラマドール塩酸塩OD錠「KO」	25mg	白	□腔内崩壊錠	○			
	トラムセット配合錠	合剤	淡黄	フィルムコーティング	○			
	トランサミンカプセル	250mg	白/橙	カプセル	○			
	トランサミン細粒	50%	白	細粒	○			
	トリテレンカプセル	50mg	緑/黄緑	カプセル	○			
	トリプタノール錠	10mg	青	フィルムコーティング	○			(最大で) 10分放置すれば投与可
		25mg	黄	フィルムコーティング	○			(最大で) 10分放置すれば投与可
	トリンテリックス錠	10mg	微黄	フィルムコーティング	○			
後発	トルバプタンOD錠「オーツカ」	7.5mg	青	素錠	○			
	トレドミン錠	15mg	黄	フィルムコーティング	○			
		25mg	白	フィルムコーティング	○			
	トレリーフ錠	25mg	淡黄	フィルムコーティング	○			
	トロペロン細粒	1%	白	粉末	○			
	ترونビン細粒	5000単位	白	粉末	○			
	ナイキサン錠	100mg	白	素錠	○			
	ナイクリン散	10%	白	粉末	○			
	ナウゼリンOD錠	10mg	淡黄	素錠	○			
	ナウゼリン錠	10mg	白	フィルムコーティング	○			
	ナウゼリンドライシロップ	1%	白	ドライシロップ	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セイルマシフチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ナゼアOD錠	0.1mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
後発	ナフトピジルOD錠「タカタ」	50mg	白	素錠	○			
	ナルサス錠	2mg	うすい灰	素錠	×	×	徐放性、粉碎不可	
		6mg	うすい黄	素錠	×	×	徐放性、粉碎不可	
		12mg	淡赤	素錠	×	×	徐放性、粉碎不可	
	ニコチン酸アミド	10%	白	粉末	○			
後発	ニコランジル錠「日医工」	5mg	白	素錠	○			
	ニトロールRカプセル	20mg	白	カプセル	×	×	内容物が徐放性	ニトロール錠へ変更
	ニトロール錠	5mg	白	素錠	○			
	ニバジール錠	2mg	黄	フィルムコーティング	○			
後発	ニフェジピンCR錠「サワイ」	10mg	帯赤灰	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉碎不可	他のC a拮抗薬へ変更
後発		20mg	淡赤	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉碎不可	他のC a拮抗薬へ変更
	乳酸カルシウム		白	粉末	○			
	乳糖		白	粉末	○			
	ニューレプチル散	10%	黄	粉末	○			
	ニューロタン錠	25mg	白	フィルムコーティング	○			（最大で）10分放置すれば投与可
		50mg	白	フィルムコーティング	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	ニンラーロカプセル	3mg	明るい灰	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	ネオーラルカプセル	10mg	白	カプセル	○			
		25mg	白	カプセル	○			
		50mg	白	カプセル	○			
	ネオドバストン配合錠L100	合剤	肌色	素錠	○			
	ネキシウムカプセル	20mg	灰紫～青	カプセル	○			
	ネキシウム懸濁用顆粒分包	20mg	白～うすい黄	顆粒	△	△	55℃のお湯では安定性が不明	常温の水で懸濁させる
		10mg	白～うすい黄	顆粒	△	△	55℃のお湯では安定性が不明	常温の水で懸濁させる
	ネクサバール錠	200mg	赤	フィルムコーティング	○			
	ネシーナ錠	6.25mg	微赤	フィルムコーティング	○			
		12.5mg	微黄	フィルムコーティング	○			
		25mg	黄	フィルムコーティング	○			
	ネルボン錠	5mg	白	素錠	○			
	ノービア錠	100mg	クリーム	カプセル	○			
	ノアルテン錠	5mg	白	素錠	○			
	ノイキノン錠	10mg	黄	素錠	○			
	ノイロトロピン錠	4U	オレンジ	フィルムコーティング	×	×		簡易懸濁・粉碎による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ノイロピタン配合錠	合剤	淡紅	フィルムコーティング	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	ノクサフィル錠	100mg	黄	フィルムコーティング	×		腸溶性、粉碎不可	
	ノックピン原末		白	粉末	○			
	ノバミン錠	5mg	白	フィルムコーティング	○			
	ノリトレン錠	10mg	淡オレンジ	フィルムコーティング	○			
		25mg	淡オレンジ	フィルムコーティング	○			
	ノルバスクOD錠	2.5mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
		5mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルワイディングチューブ、14Fr: セイラムサンプチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ノルバデックス錠	10mg	白	フィルムコーティング	○			
	ハーフジゴキシンKY錠	0.125mg	淡黄	素錠	○			
	パーロデル錠	2.5mg	白	素錠	△	△	光、熱に不安定	常温の水で懸濁させる
	バイアスピリン錠	100mg	白	フィルムコーティング	×	×	腸溶性、粉碎不可	アスピリン末への変更
	バイシリンG顆粒	40万単位	ピンク	顆粒	○			
	ハイゼット細粒	20%	白	細粒	○			
	ハイドレアカプセル	500mg	ピンク	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	ハイボン錠	20mg	オレンジ	素錠	○			
	パキシル錠	10mg	淡ピンク	素錠	○			
	バクシダール錠	50mg	白	フィルムコーティング	○			
	バクタ配合顆粒	合剤	白	顆粒	○			
	バクタ配合錠	合剤	白	素錠	○			
	バスタレルF錠	3mg	白	フィルムコーティング	○			
	バップフォー錠	10mg	白	フィルムコーティング	○			
	パナルジン細粒	10%	白	細粒	×	×		他の同効薬(クロピドグレル錠など)へ変更
	パナルジン錠	100mg	白	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	バナン錠	100mg	白	フィルムコーティング	○			
	バナンドライシロップ	5%	淡オレンジ	ドライシロップ	○			
	バフセオ錠	150mg	白	フィルムコーティング	○			
		300mg	黄	フィルムコーティング	○			
	バラクルード錠	0.5mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	バラシクロピル錠「SPKK」	500mg	白～微黄白	フィルムコーティング	×			調剤室で粉碎して投与
	パラミチンカプセル	300mg	黄白	カプセル	○			
	パリエット錠	10mg	黄	フィルムコーティング	△	△	腸溶性、粉碎不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、病棟で破砕して投与可 他のPPI製剤へ変更
	バリキサ錠	450mg	淡赤	フィルムコーティング	△		催奇形性、発がん性	曝露防止策が必要
後発	バルサルタン錠「サンド」	40mg	白	フィルムコーティング	○			
後発		80mg	白	フィルムコーティング	○			
	ハルシオン錠	0.25mg	青	素錠	○			
	バルトレックス錠	500mg	白	フィルムコーティング	×	×		
後発	バルプロ酸Na錠「DSP」	100mg	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
後発	バルプロ酸Na徐放B錠「トーフ」	200mg	白	糖衣錠	×	×	徐放性、粉碎不可	バレリンシロップへ変更
	ハルナールD錠	0.2mg	白	口腔内崩壊錠	×		徐放性、粉碎不可	他の同効薬(シロドシンなど)へ変更
	パルモディアXR錠	0.2mg	淡黄	フィルムコーティング	×		徐放性、粉碎不可	他の同効薬(リピディルなど)へ変更
	パルモディア錠	0.1mg	白	フィルムコーティング	○			
	バレリン錠	100mg	白	糖衣錠	×	×		バレリンシロップへ変更
後発	パロキセチン錠「DSEP」	10mg	帯紅白	フィルムコーティング	○			
	パンクレアチン		淡茶	粉末	○			
	パンスポリンT錠	200mg	黄	フィルムコーティング	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉碎すれば投与可
	パントシン散	20%	白	粉末	○			
	パントシン錠	100mg	白	フィルムコーティング	×	×		パントシン散へ変更
	パンピタン末		黄	粉末	○			
	ピートル顆粒分包	500mg	茶	顆粒	×	○	最小通過サイズ14Fr	

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ビ・シフロール錠	0.125mg	白	素錠	○			
		0.5mg	白	素錠	○			
	ピオフェルミン配合散	合剤	白	粉末	○			
	ピオフェルミン錠剤		白	素錠	○			
	ピオフェルミンR散		白	粉末	△	△	55℃のお湯で懸濁すると耐性乳酸菌数が減少する	常温の水で懸濁させる
	ピクシリンカプセル	250mg	赤/黄	カプセル	○			
後発	ピクロックス錠	200mg	白	素錠	○			
後発	ピコスルファートNa錠「サワイ」	2.5mg	白	素錠	○			
	ヒスロン錠	5mg	白	素錠	○			
	ヒスロンH錠	200mg	白	素錠	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
後発	ビソプロロールフマル酸塩錠「サワイ」	0.625mg	白	素錠	○			
後発		2.5mg	白	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発	ビソプロロールフマル酸塩錠「トーワ」	0.625mg	白	素錠	○			
後発		2.5mg	白	素錠	○			
後発	ビソプロロールフマル酸塩錠「日医工」	0.625mg	白	素錠	○			
後発		2.5mg	白	素錠	○			
	ピソルボン細粒	2%	白	細粒	○			
後発	ピタバスタチンCa・OD錠「トーワ」	1mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
	ピタメジン配合カプセルB25	合剤	クリーム/赤	カプセル	○			
	ヒダントールF配合錠	合剤	白	素錠	○			
	ピドキサール錠	10mg	白	糖衣錠	△	△	腸溶性、粉碎不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、調剤時に粉碎すれば投与可
		30mg	白	糖衣錠	△	△	腸溶性、粉碎不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、調剤時に粉碎すれば投与可
	ビビアント錠	20mg	白	フィルムコーティング	○			
	ビプラマイシン錠	100mg	白	フィルムコーティング	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉碎すれば投与可
	ビプレッソ徐放錠	50mg	うすい黄みの赤	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉碎不可	簡易懸濁・粉碎による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ヒボカカプセル	15mg	黄	カプセル	×	×		他のCa拮抗剤へ変更
	ビムパット錠	50mg	ピンク	フィルムコーティング	○			
		100mg	濃黄	フィルムコーティング	○			
	ピメノールカプセル	100mg	白	カプセル	○			
後発	ピモベンダン錠「TE」	1.25mg	黄白	フィルムコーティング	○			
	ピラノア錠	20mg	白	素錠	○			
	ピラノアOD錠	20mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	ピラマイド原末		白	粉末	○			
	ヒルナミン錠	5mg	白	糖衣錠	○			
		25mg	白	糖衣錠	○			
	ピレスパ錠	200mg	淡黄	フィルムコーティング	○			
	ピレチア細粒	10%	白	細粒	○			
	ピレチア錠	25mg	肌	糖衣錠	○			
	ファスティック錠	30mg	白	フィルムコーティング	○			
		90mg	ピンク	フィルムコーティング	○			
後発	ファモチジンD錠「サワイ」	10mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発		20mg	白	口腔内崩壊錠	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
後発	ファモチジンOD錠「トーフ」	10mg	白	□腔内崩壊錠	○			
		20mg	白	□腔内崩壊錠	○			
	ファロム錠	200mg	白	フィルムコーティング	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	ファロムドライシロップ小児用	10%	黄	ドライシロップ	○			
	フィコンパ錠	2mg	橙	フィルムコーティング	○			
		4mg	赤	フィルムコーティング	○			
	ブイフェンド錠	50mg	白	フィルムコーティング	○			
		200mg	白	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	フェアストン錠	40mg	白	素錠	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
後発	フェキソフェナジン塩酸塩錠「NP」	60mg	うすいだいだい色	フィルムコーティング	○			
後発	フェキソフェナジン塩酸塩錠「SANIK」	60mg	淡橙	フィルムコーティング	○			
後発	フェキソフェナジン塩酸塩DS「トーフ」	5%	白	ドライシロップ	○			
	フェノバル散	10%	淡紅	粉末	○			
	フェノバル錠	30mg	白	素錠	○			
後発	フェブキソスタット錠「DSEP」	10mg	白色～微黄	フィルムコーティング	○			
		20mg	白色～微黄	フィルムコーティング	○			
	フェブリク錠	10mg	白色～微黄	フィルムコーティング	○			
		20mg	白	フィルムコーティング	○			
	フェマーラ錠	2.5mg	黄	素錠	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	フェロ・グラデュメット錠	105mg	赤	フィルムコーティング	×	×		フェロミア顆粒に変更
	フェロベリン配合錠	合剤	黄	フィルムコーティング	○			
	フェロミア顆粒	8.3%	淡緑	顆粒	○			
	フェロミア錠	50mg	白	フィルムコーティング	△	△	砕く、フェロミア顆粒の方が投与しやすい	病棟で破砕して投与可or長時間放置する
	フオイパン錠	100mg	白	フィルムコーティング	○			
	フォゼベル錠	5mg	ごく薄い黄色	フィルムコーティング	○			
	フォリアミン散	10%	黄	粉末	○			
	フォリアミン錠	5mg	黄	素錠	○			
	ブスコパン錠	10mg	白	糖衣錠	○			
	フスタゾール糖衣錠	10mg	ピンク	糖衣錠	○			
	プラザキサカプセル	75mg	淡青/黄白	カプセル	×	×	粉砕、経管いずれも不適（AUC上昇）	他のDOAC（エリキュースなど）に変更
		110mg	淡青/淡青	カプセル	×	×	粉砕、経管いずれも不適（AUC上昇）	他のDOAC（エリキュースなど）に変更
	フラジール内服錠	250mg	白	糖衣錠	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	ブラダロン錠	200mg	淡黄	フィルムコーティング	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
後発	ブラバスタチンNa錠「トーフ」	5mg	白色	素錠	○			
後発		10mg	微紅色	素錠	○			
	プラビックス錠	25mg	白	フィルムコーティング	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
		75mg	白	フィルムコーティング	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
後発	ブラミベキソール塩酸塩OD錠「トーフ」	0.125mg	淡赤	□腔内崩壊錠	○			
	フランドル錠	20mg	白	徐放錠	×	×	徐放性、粉砕不可	フランドルテープに変更
	ブリビビアクト錠	25mg	灰	フィルムコーティング	○			
	ブリジスタナイーブ錠	800mg	暗赤	フィルムコーティング	○			
	フリバスOD錠	50mg	白	□腔内崩壊錠	○			
		75mg	黄	□腔内崩壊錠	○			
	プリミドン細粒	99.50%	白	細粒	○			
	プリモボラン錠	5mg	白	素錠	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr: セイラムサンプチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ブリリント錠	60mg	ごくうすい黄赤	フィルムコーティング	○			
	プリンペラン錠	5mg	白	フィルムコーティング	○			
	フルイトラン錠	1mg	白	素錠	○			
		2mg	ピンク	素錠	○			
後発	フルコナゾールカプセル「サワイ」	100mg	橙	カプセル	○			
後発	フルコナゾールカプセル「タカタ」	100mg	緑/白	カプセル	○			
	ブルゼニド錠	12mg	あずき	糖衣錠	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	フルダラ錠	10mg	淡黄赤	フィルムコーティング	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	フルツロンカプセル	100mg	ピンク/白	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
後発	フルニトラゼパム錠「アメル」	1mg	帯青白	フィルムコーティング	○			
後発		2mg	帯青白	フィルムコーティング	○			
	ブルフェン錠	100mg	白	糖衣錠	○			
	フルメジン糖衣錠	0.5mg	淡オレンジ	糖衣錠	○			
後発	プレガバリンOD錠「KMP」	25mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発		75mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発	プレガバリンOD錠「ニプロ」	25mg	白～微黄白	口腔内崩壊錠	○			
後発		75mg	白～微黄白	口腔内崩壊錠	○			
後発	プレガバリンOD錠「ファイザー」	25mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発		75mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	プレタールOD錠	50mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	プレディニン錠	50mg	白	フィルムコーティング	○			
	プレディニンOD錠	50mg	白	素錠	○			
	ブレドニゾロン散「タケダ」	1%	白	粉末	○			
後発	ブレドニゾロン錠「旭化成」	1mg	白	素錠	○			
	ブレドニン錠	5mg	白	素錠	○			
	ブレマリン錠	0.625mg	白	糖衣錠	△	△	砕く、吸湿性あり	病棟で破砕して投与可
	プレミネントLD錠	合剤	白	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	プログラフカプセル	0.5mg	黄	カプセル	○			
		1mg	白	カプセル	○			
	プログラフ顆粒	0.2mg	白	顆粒	○			
	プロサイリン錠	20μg	白	フィルムコーティング	○			
	プロスター錠	25mg	微黄	素錠	○			
	プロスタグランジンE2錠「科研」	0.5mg	淡黄白	フィルムコーティング	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	プロセキソール錠	0.5mg	白	フィルムコーティング	×	×	腸溶性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
後発	フロセミド錠「NIG」	10mg	微赤	フィルムコーティング	○			
後発	フロセミド錠「NP」	40mg	微赤	素錠	○			
後発	フロセミド錠「テバ」	20mg	白	フィルムコーティング	○			
後発		40mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	プロチゾラムOD錠「タイヨー」	0.25mg	白	素錠	○			
	プロパジール錠	50mg	白	フィルムコーティング	○			
	プロバリリン原末		白	粉末	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	プロプレス錠	4mg	橙	素錠	○			
		8mg	淡橙	素錠	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	プロマックD錠	75mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	フロモックス小児用細粒	100mg	ピンク	細粒	○			
	フロモックス錠	100mg	ピンク	フィルムコーティング	○			(最大で) 10分放置すれば投与可
	フロリネフ錠	0.1mg	白	素錠	○			
	バイスンOD錠	0.2mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
		0.3mg	淡黄	口腔内崩壊錠	○			
	バオーバ錠	50mg	淡緑	フィルムコーティング	○			(最大で) 10分放置すれば投与可
	バゲタミンA配合錠	合剤	ピンク	糖衣錠	×	△	砕く(溶け残りあり)	調剤時に粉砕すれば投与可
	バゲタミンB配合錠	合剤	白	糖衣錠	×	△	砕く(溶け残りあり)	調剤時に粉砕すれば投与可
	バサコリン散	5%	白	粉末	○			
	バザトールSR錠	200mg	白	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉砕不可	他の同効薬(リピディルなど)へ変更
	バサノイドカプセル	10mg	黄/赤褐	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
後発	バザフィブラートSR錠「サワイ」	200mg	帯黄白	フィルムコーティング	×		徐放性、粉砕不可	他の同効薬(リピディルなど)へ変更
	バシケアOD錠	2.5mg	白	素錠	○			
		5mg	黄	素錠	○			
	バタナミン錠	25mg	白	素錠	○			
	バタニス錠	25mg	褐色	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
		50mg	黄	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
後発	ベニジピン塩酸塩錠「NIG」	4mg	黄	フィルムコーティング	○			(最大で) 10分放置すれば投与可
	ベネシッド錠	250mg	白	フィルムコーティング	○			(最大で) 10分放置すれば投与可
	ベネット錠	2.5mg	白	フィルムコーティング	○			
		17.5mg	ピンク	フィルムコーティング	○			
		75mg	微黄	フィルムコーティング	○			
	バタナミン錠	25mg	白	素錠	○			
後発	バタヒスチンメシル酸塩錠「トーフ」	6mg	白	素錠	○			
後発		12mg	白	素錠	○			
	ヘパアクト配合顆粒	4.5g	白	顆粒	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ベブリコール錠	50mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	ベブリシル錠「TE」	50mg	白	フィルムコーティング	○			
	ペリアクチン散	1%	白	粉末	○			
	ペリアクチン錠	4mg	白	素錠	○			
	ベリキューボ錠	2.5mg	白	フィルムコーティング	○			
		5mg	褐赤色	フィルムコーティング	○			
		10mg	黄橙色	フィルムコーティング	○			
	ベリチーム配合顆粒	合剤	淡い茶	顆粒	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ペルサンチンLカプセル	150mg	白/ピンク	カプセル	×	○	内容物が徐放性、最小通過サイズ12Fr	
	ペルサンチン錠	25mg	赤	糖衣錠	○			
		100mg	白	糖衣錠	○			
	ペルジピンLAカプセル	20mg	白	カプセル	×	○	内容物が徐放性、最小通過サイズ12Fr	
	ペルジピン散	10%	黄	粉末	○			
	ペルソムラ錠	15mg	白	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
		20mg	白	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セイルマシフチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ヘルベッサーRカプセル	100mg	白	カプセル	×	○	内容物が徐放性	
	ヘルベッサー錠	30mg	白	素錠	原則×	原則×	徐放性、粉碎不可	簡易懸濁・粉碎による本剤の投与は困難 →やむをえず投与する場合は調剤時に粉碎すれば投与可 →14Fr以上ならヘルベッサーR投与可
	ペルマックス錠	250μg	緑	素錠	△	△	粉碎不可（吸入毒性、眼刺激性あり）	曝露防止策が必要
	ベンザリン細粒	1%	白	細粒	○			
	ペンタサ錠	250mg	灰白～淡灰黄	素錠	×	×	放出制御製剤、粉碎不可	簡易懸濁・粉碎による本剤の投与は困難 →他剤を検討
		500mg	灰白～淡灰黄	素錠	×	×	放出制御製剤、粉碎不可	簡易懸濁・粉碎による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ペンタジン錠	25mg	白	フィルムコーティング	○			
	ホクナリンドライシロップ小児用	0.1%	白	ドライシロップ	○			
	ホスミシン錠	500mg	白	素錠	○			
	ホスミシンドライシロップ		白	ドライシロップ	○			
	ホスリボン配合顆粒	合剤	白～微黄白	顆粒	○			
	ホスレノールOD錠	250mg	白	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
		500mg	白	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
	ホスレノール顆粒	250mg	白～微帯黄白	顆粒	×	×		簡易懸濁・粉碎による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	ボナロン経口ゼリー	35mg	微黄	ゼリー剤	○			
	ボナロン錠	5mg	白	素錠	○			
		35mg	白	素錠	○			
	ボラキス錠	2mg	白	素錠	○			
後発	ボラプレジンクOD錠「サワイ」	75mg	白色～微黄白色	口腔内崩壊錠	○			
	ボラミン錠	2mg	白	素錠	○			
後発	ポリスチレンスルホン酸Caゼリー20%	25g	淡黄白～淡黄	ゼリー剤	×			他の同効薬(カリメート経口液20%など)へ変更
	ホリゾン錠	5mg	白	素錠	○			
	ポリフル錠	500mg	白	フィルムコーティング	○		調剤室での粉碎不適、吸湿性	
	ボルトレンSRカプセル	37.5mg	白	カプセル	×	○	内容物が徐放性、最小通過サイズ12Fr	ボルトレン錠/坐薬へ変更
	ボルトレン錠	25mg	オレンジ	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ボンゾール錠	100mg	白	フィルムコーティング	○			
	ポンタールカプセル	250mg	白	カプセル	×	×		ポンタールシロップに変更
	マーズレンS配合顆粒	合剤	青	細粒	○			
	マイスタン錠	5mg	淡オレンジ	素錠	○			
	マイスリー錠	5mg	淡オレンジ	フィルムコーティング	○			
	マグラックス錠	330mg	白	素錠	○			
		500mg	白	素錠	○			
	マスーレッド錠	25mg	灰黄赤	フィルムコーティング	○			
		75mg	白	フィルムコーティング	○			
	マドパー配合錠	合剤	ピンク	素錠	△	△		酸化マグネシウムと同一溶液で懸濁しない （レボドパの力価が低下する）
	マブリン散	1%	白	粉末	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	マリゼブ錠	12.5mg	黄	フィルムコーティング	○			
		25mg	白	フィルムコーティング	○			
	ミオナール錠	50mg	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ミカルディス錠	40mg	白	素錠	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ミグシス錠	5mg	白	素錠	○			
後発		25mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発	ミグリトールOD錠「サワイ」	50mg	白	口腔内崩壊錠	○			
後発		75mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	ミケラン錠	5mg	白	素錠	○			
	ミコプティンカプセル	150mg	赤褐	カプセル	○			
	ミニリンメルトOD錠	50mg	白	口腔内崩壊錠	△			原則として舌下投与、経管投与の推奨せず →他剤を検討（デスモプレシン点鼻スプレー等）
後発	ミノサイクリン塩酸塩錠「サワイ」	50mg	黄～暗黄	フィルムコート錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発	ミノサイクリン塩酸塩顆粒「サワイ」	2%	淡橙	顆粒	○			
	ミノマイシン顆粒	2%	淡橙	顆粒	○		ミノマイシン錠の方が簡易懸濁しやすい	
	ミノマイシン錠	50mg	黄	フィルムコート錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
後発	ミチグリニドCaOD錠「フソー」	10mg	白	素錠	○			
	ミネプロOD錠	2.5mg	微黄白	口腔内崩壊錠	○			
	ミネプロ錠	1.25mg	微黄白色	素錠	○			
		2.5mg	微黄白色	素錠	○			
		5mg	微赤白色	素錠	○			
	ミヤBM細粒		白	細粒	○			
	ミラベックスLA錠	0.375mg	白	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	ビ・シフロールへ変更
		1.5mg	白	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	ビ・シフロールへ変更
後発	ミルタザピン錠「トーワ」	15mg	黄	フィルムコート錠	○			
後発	ミルタザピンOD錠「DSEP」	15mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
後発		30mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
後発	ミルタザピンOD錠「トーワ」	15mg	黄	口腔内崩壊錠	○			
	ムコソルバンLカプセル	45mg	黄/白	カプセル	×	×	徐放性、粉砕不可	アンプロキシソール塩酸塩錠へ変更
	ムコソルバンL錠	45mg	白	フィルムコート錠	×	×	徐放性、粉砕不可	アンプロキシソール塩酸塩錠へ変更
	ムコソルバン錠	15mg	白	素錠	○			
	ムコダインドライシロップ	50%	白	ドライシロップ	○			
	ムコダイン錠	250mg	白	フィルムコート錠	○			
	メイアクトMS小児用細粒	10%	オレンジ	細粒	○			
	メイアクトMS錠	100mg	白	フィルムコート錠	○			
	メイラックス錠	1mg	白	素錠	○			
		0.625mg	白	素錠	○			
	メインテート錠	2.5mg	白	素錠	○			
		50mg	黄/オレンジ	カプセル	○			
	メキシチールカプセル	100mg	白/薄黄赤	カプセル	○			
後発		500μg	白	糖衣錠	○			
後発	メサラジン錠「トーワ」	500mg	灰白～淡灰黄の斑点入りの白～淡黄	素錠	×	×	徐放性、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	メジコン散	10%	白	粉末	○			
	メジコン錠	15mg	白	フィルムコート錠	○			
	メスチノン錠	60mg	橙	糖衣錠	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉砕すれば投与可
	メソトレキセート錠	2.5mg	黄	素錠	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルワイディングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	メタクト配合錠LD	合剤	白	フィルムコーティング	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	メタクト配合錠HD	合剤	帯黄白	フィルムコーティング	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	メチコパール細粒	0.1%	ピンク	細粒	○			
	メチコパール錠	500μg	白	糖衣錠	○			
後発	メチルエルゴメトリン錠「あすか」	0.125mg	白	フィルムコーティング	○			
	メトグルコ錠	250mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	メトクロプラミド錠「テバ」	5mg	白	素錠	○			
後発	メトクロプラミド錠「トーワ」	5mg	白	フィルムコーティング	○			
	メトピロンカプセル	250mg	クリーム	カプセル	○			
後発	メトホルミン塩酸塩錠MT「DSPB」	250mg	白～帯黄白	フィルムコーティング	○			
後発	メトホルミン塩酸塩錠MT「DSEP」	250mg	白～帯黄白	フィルムコーティング	○			
後発	メトホルミン塩酸塩錠「TE」	500mg	微黄	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	メトリジン錠	2mg	白	素錠	○			
	メドロール錠	2mg	淡紅	素錠	○			
	メパロチン錠	5mg	白	素錠	○			
		10mg	淡ピンク	素錠	○			
	メブチン錠	50μg	白	素錠	○			
		5mg	淡赤	フィルムコーティング	○			
	メマリー錠	10mg	白	フィルムコーティング	○			
		20mg	白	フィルムコーティング	○			
	メマリーOD錠	5mg	淡赤白	口腔内崩壊錠	○			
		20mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	メラトベル顆粒小児用	0.20%	白	顆粒	○			
	メリスロン錠	6mg	白	素錠	○			
	メルカゾール錠	5mg	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	モービック錠	10mg	黄	素錠	○			
後発	モサブリドクエン酸塩錠「ファイザー」	5mg	白	フィルムコーティング	○			
	モビコール配合内用剤LD	合剤	白	粉末	○			
	ユーゼル錠	25mg	白	素錠	○			
	ユーロジン錠	1mg	白	素錠	○			
	ユニシア配合錠LD	合剤	淡黄	素錠	○			
	ユニシア配合錠HD	合剤	淡赤	素錠	○			
	ユベラNカプセル	100mg	白/ピンク	カプセル	○			
	ユベラ顆粒	20%	白	顆粒	○			
	ユベラ錠	50mg	オレンジ	糖衣錠	×	×		ユベラNカプセルへ変更
	ユリーフ錠	4mg	白	素錠	○			
	ユリーフOD錠	2mg	淡黄赤	素錠	○			
		4mg	淡黄赤	素錠	○			
	ユリノーム錠	50mg	白	素錠	○			
	ヨウ化カリウム		白	粉末	○			
	ラキシベロン錠	2.5mg	白	フィルムコーティング	○			
	ラグノスゼリー分包	16.05g	淡褐色～褐色	ゼリー剤	○			
	ラグノスNF経口ゼリー分包12g	12g	無色～淡褐色	ゼリー様	×	△	湯内で凝集する	ラクツロースシロップへ変更

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セラムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ラシックス細粒	4%	白	細粒	○			
	ラシックス錠	20mg	白	素錠	○			
		40mg	白	素錠	○			
	ラジレス錠	150mg	ピンク	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ラステットSカプセル	25mg	淡オレンジ	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
	ラスピック錠	75mg	淡黄	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ラツェダ錠	20mg	白～帯黄白	フィルムコーティング	○			
	ラックビー微粒N		白	粉末	○			
後発	ラベプラゾールNa錠「トーワ」	10mg	淡黄	フィルムコーティング	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、病棟で破砕して投与可 他のPPI製剤へ変更
後発	ラベプラゾールNa錠「日医工」	10mg	淡黄	フィルムコーティング	△	△	腸溶性、粉砕不可	原則として投与不可 腸溶錠→管が腸まで届いてれば、病棟で破砕して投与可 他のPPI製剤へ変更
	ラボナ錠	50mg	白	フィルムコーティング	○			
	ラミクタール錠	25mg	白	素錠	○			
		100mg	白	素錠	○			
	ラミシール錠	125mg	白	素錠	○			
後発	ラメルテオン錠「武田テバ」	8mg	うすい橙みの黄	フィルムコーティング	○			
後発	ラモトリギン錠「トーワ」	100mg	白	素錠	○			
後発	ランソプラゾールOD錠「タイヨー」	30mg	帯黄白	口腔内崩壊錠	×	△	55℃のお湯で懸濁すると粒が残り、詰まりやすい	常温の水で懸濁させる、8Frはタケキャブへの変更を検討
後発	ランソプラゾールOD錠「日医工」	15mg	帯黄白	口腔内崩壊錠	×	△	55℃のお湯で懸濁すると粒が残り、詰まりやすい	常温の水で懸濁させる、8Frはタケキャブへの変更を検討
	リーゼ錠	5mg	白	フィルムコーティング	○			
	リーバクト配合顆粒	合剤	白	顆粒	×	×		簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	リーマス錠	100mg	白	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
		200mg	白	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	リアルダ錠	1200mg	赤褐	フィルムコーティング	×	×	放出制御製剤、粉砕不可	簡易懸濁・粉砕による本剤の投与は困難 →他剤を検討
	リウマトレックスカプセル	2mg	黄	カプセル	○			
	リオナ錠	250mg	白	フィルムコーティング	○			
	リクシアナ錠	15mg	黄	フィルムコーティング	○			
		30mg	淡赤	フィルムコーティング	○			
		60mg	黄	フィルムコーティング	○			
	リクシアナOD錠	15mg	微黄白	素錠（口腔内崩壊錠）	○			
		30mg	微赤白	素錠（口腔内崩壊錠）	○			
		60mg	微黄白	素錠（口腔内崩壊錠）	○			
	リザベンカプセル	100mg	白	カプセル	○			
	リスパダールOD錠	1mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	リスパダール細粒	1%	白	細粒	○			
後発	リスペリドンOD錠「アメル」	1mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	リズミック錠	10mg	白	素錠	○			
	リスモダンR錠	150mg	白	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉砕不可	リスモダンカプセルへ変更
	リスモダンカプセル	50mg	青/緑	カプセル	○			
	リタリン錠	10mg	白	素錠	○			
後発	リネゾリド錠「サワイ」	600mg	白～微黄白	フィルムコーティング	○			
	リバクレオン顆粒	300mg	褐色	顆粒	×	×	腸溶性、胃酸で失活	

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セイルマシフチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	リバロOD錠	1mg	帯黄白	口腔内崩壊錠	○			
		2mg	帯黄白	口腔内崩壊錠	○			
	リバロ錠	1mg	白	フィルムコーティング	○			
	リビディル錠	80mg	白	素錠	○			
	リピトール錠	5mg	淡ピンク	フィルムコーティング	○			
		10mg	白	フィルムコーティング	○			
	リファシнкаプセル	150mg	青/赤	カプセル	○			
	リフキシマ錠	200mg	淡赤	フィルムコーティング	○			
	リフヌア錠	45mg	ピンク	フィルムコーティング	○			
	リベルサス錠	3mg	白～淡黄	素錠	△		砕く	病棟で破砕して投与可
	リボトリール細粒	0.1%	白	細粒	○			
	リボトリール錠	0.5mg	白	素錠	○			
	リボバス錠	5mg	白	素錠	○			
	リマチル錠	100mg	白	糖衣錠	×	×	粉碎するとメルカプタン臭あり、吸湿で成分分解	簡易懸濁・粉碎による本剤の投与は困難 →他剤を検討
後発	リマプロストアルファデクス錠「日医工」	5μg	白	素錠	○			
	硫酸亜鉛散(院内製剤)	20%	白	粉末	○			
	硫酸アトロピン		白	粉末	○			
	硫酸マグネシウム		白	粉末	○			
	リリカカプセル	25mg	白	カプセル	○			
		75mg	白/赤	カプセル	○			
	リリカOD錠	25mg	白	素錠	○			
		75mg	白	素錠	○			
	リルテック錠	50mg	白	フィルムコーティング	○			
	リン酸ジヒドロコデイン散「ホエイ」	1%	白	粉末	○			
	リンゼス錠	0.25mg	淡黄	フィルムコーティング	○			
	リンラキサー錠	125mg	白	素錠	○			
	ルーラン錠	4mg	白	フィルムコーティング	○			
	ルジオミール錠	10mg	白	フィルムコーティング	○			
		25mg	黄	フィルムコーティング	○			
	ルネスタ錠	1 mg	白	フィルムコーティング	○			
	ルパフィン錠	10mg	淡黄赤	素錠	○			
	ルブラック錠	4mg	白	素錠	○			
		8mg	白	素錠	○			
	ルボックス錠	25mg	黄	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ルリッド錠	150mg	白	フィルムコーティング	○			
	レキサルティ錠	1mg	淡黄	フィルムコーティング	○			
		2mg	淡緑	フィルムコーティング	○			
	レキサルティOD錠	1mg	淡黄	素錠	○			
	レキソタン細粒	1%	白	細粒	○			
	レキソタン錠	2mg	白	素錠	○			
		5mg	淡ピンク	素錠	○			
	レクサプロ錠	10mg	白	フィルムコーティング	○			
		20mg	白	フィルムコーティング	○			
	レクチゾール錠	25mg	白	素錠	○			

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュートラルフィードィングチューブ、14Fr:セイルマシフチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	レグパラ錠	25mg	淡緑黄緑	フィルムコーティング	○			
	レザルタス配合錠LD	合剤	白	フィルムコーティング	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉碎すれば投与可
	レザルタス配合錠HD	合剤	白	フィルムコーティング	×	△	砕く（溶け残りあり）	調剤時に粉碎すれば投与可
	レスタミンコーワ錠	10mg	白	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	レスプレン錠	20mg	白	糖衣錠	○			
	レスミット錠	5mg	白	糖衣錠	○			
	レスリン錠	25mg	白	フィルムコーティング	○			
	レタマイシンカプセル	150mg	白/灰	カプセル	○			
	レトロビルカプセル	100mg	白	カプセル	○			
	レナジェル錠	250mg	白	フィルムコーティング	○			
	レナデックス錠	4mg	白	素錠	○			
	レニベース錠	2.5mg	淡ピンク	素錠	○			
		5mg	淡ピンク	素錠	○			
後発	レパグリニド錠「サワイ」	0.25mg	淡赤	素錠	○			
	レバチオ錠	20mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	レバミピド錠「Me」	100mg	白	フィルムコーティング	○			
後発	レバミピドOD錠「明治」	100mg	白	素錠	○			
	レブラミドカプセル	5mg	白	カプセル	○		抗がん剤	曝露防止策が必要
後発	レベチラセタム錠「トーワ」	500mg	黄	フィルムコーティング	○			
	レベトールカプセル	200mg	白	カプセル	△	△	催奇形性あり	曝露防止策が必要
後発	レボセチリジン塩酸塩錠「武田デバ」	5mg	白	フィルムコーティング	○			
	レボトミン散	10%	白	粉末	○			
後発	レボフロキサシン錠「DSEP」	250mg	黄	フィルムコーティング	○			
後発	レボフロキサシンOD錠「トーワ」	250mg	淡黄色	口腔内崩壊錠	○		残渣が溜まりやすい	懸濁している顆粒が詰まりやすいため少しずつ注入する
	レミッチOD錠	2.5 μg	やわらかい紫みの赤 ～くすんだ赤	フィルムコーティング	○			
	レメロン錠	15mg	黄	フィルムコーティング	○			
	レルミナ錠	40mg	淡黄赤	フィルムコーティング	○			
	レンドルミンD錠	0.25mg	白	口腔内崩壊錠	○			
	ローコール錠	20mg	白	フィルムコーティング	○			
		40mg	淡黄	フィルムコーティング	○			
	ロイケリン散	10%	淡黄	粉末	○			
後発	ロキシスロマイシン錠「サワイ」	150mg	白色	フィルムコーティング	○			
	ロキソニン錠	60mg	淡ピンク	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発	ロキソプロフェンNa錠「サワイ」	60mg	ごくうすい紅	素錠	△	△		病棟で破砕して投与可
後発	ロキソプロフェンNa錠「トーワ」	60mg	ごくうすい紅	素錠	○			（最大で）10分放置すれば投与可
後発	ロキソプロフェンナトリウム錠「日医工」	60mg	うすい紅	素錠	○			
	ロケルマ懸濁用散分包	5g	白～灰	粉末	○			
	ロコルナール錠	100mg	白	フィルムコーティング	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
後発	ロサルタンカリウム錠「サワイ」	25mg	白	フィルムコーティング	△		砕く	病棟で破砕して投与可
後発	ロサルタンカリウム錠「サンド」	25mg	白	フィルムコーティング	△		砕く	病棟で破砕して投与可
	ロゼレム錠	8mg	淡黄	フィルムコーティング	○			
後発	ロスバスタチン錠「DSEP」	2.5mg	薄い赤みの黄	フィルムコーティング	○			
後発		5mg	薄い赤みの黄	フィルムコーティング	○			
後発	ロスバスタチンOD錠「トーワ」	2.5mg	淡黄白	口腔内崩壊錠	○			
	ロドピン細粒		白	細粒	×	×		ロドピン錠に変更

簡易懸濁法 東京医療センター 薬剤部のデータベース

2025.9.1更新

【可否に関して】 ○：簡易懸濁法で投与可 △：簡易懸濁法で投与可能だが、工夫が必要 ×：簡易懸濁法で投与不可
【チューブに関して】 8Fr: ニュエンテラルフィーディングチューブ、14Fr:セイルムサップチューブ

	薬剤名	規格	色	形状	可否 8 Fr	可否 14 Fr	コメント	当院での対処法
	ロドピン錠	25mg	白	糖衣錠	○			
	ロナセン錠	4mg	白	素錠	○			
	ロペミンカプセル	1mg	白	カプセル	○			
	ロペミン小児用細粒	0.05%	淡オレンジ	細粒	○			
後発	ロペラミド塩酸塩カプセル「タイヨー」	1mg	白	カプセル	×	×		ロペミン小児用細粒へ変更
後発	ロペラミド塩酸塩カプセル「NIG」	1mg	白	カプセル	×	×		ロペミン小児用細粒へ変更
後発	ロラゼパム錠「サワイ」	0.5mg	白	素錠	○			
	ロラメット錠	1.0mg	白	素錠	○			
	ロルカム錠	4mg	白	フィルムコーティング	○			
	ロレルコ錠	250mg	白	フィルムコーティング	○			
	ワーファリン錠	0.5mg	黄	素錠	○			
		1mg	白	素錠	○			
	ワイテンス錠	2mg	白	素錠	○			
後発	ワイドシリン細粒	20%	桃	細粒	○			
	ワイパックス錠	0.5mg	白	素錠	○			
	ワソラン錠	40mg	黄	糖衣錠	△	△	砕く	病棟で破砕して投与可
	ワンアルファ錠	0.5 μg	白	素錠	○			
	ワントラム錠	100mg	白～灰	フィルムコーティング	×	×	徐放性、粉碎不可	

- 【試験方法】
- ①簡易懸濁用ボトルに55℃の温湯20mLと対象薬剤を1剤投入し、1分間振とうする。
 - ②1分間振とうしても薬剤が溶けていない場合、更に1分間振とうする。
 - ③②を実施しても溶けない場合、10分間静置する。
 - ④③を実施しても溶けない場合、薬剤を破砕してから①-③を実施する。

- 【補足】
- ・病棟で破砕して投与可…錠剤が水で「ぬれ」やすくするために軽く砕けば投与可能
 - ・調剤室で粉碎すれば投与可…粉の状態になるまで錠剤をつぶす（粉碎）することで投与可能
（本表では「破砕」と「粉碎」とを上記のように使い分けています。）
 - ・診療化成株式会社製の簡易懸濁用ボトルを利用して試験した結果を記載しています。

- ・抗がん剤を簡易懸濁法で投与する時は、飛散または漏出より保護するため、二重手袋、ガウン、眼・顔面防護具、呼吸器防護具を使用して下さい。また、経管注入時には、環境中に飛散または漏出させる危険性を低減するため、シリンジと経管チューブの接続部をガーゼで覆い、注入時は、周囲への飛散を避けるために、薬の注入前に他の液で開通を確認後にゆっくり注入し、注入中に抵抗があった場合は、無理に注入を継続せず、再度開通性を確認するなど抵抗がない状態で実施して下さい。経管注入に使用した物品を廃棄する時は、ジッパー付きプラスチックバックに入れてから専用の容器に入れて廃棄して下さい。
(参考：日本がん看護学会,日本臨床腫瘍学会,日本臨床腫瘍薬学会 編集『がん薬物療法における職業性曝露対策ガイドライン 2019年版』金原出版株式会社,2019,p75-76)
- ・経皮吸収性、眼刺激性、吸入毒性のある薬剤をやむを得ず投与する場合は、取り扱いに十分に注意して実施して下さい。

- 【本データベースについて】
- ・公開している情報は、東京医療センター（当院）において簡易懸濁法を適用する際の各薬剤の対処法についてまとめたものです。当院薬剤部では、本データを参考にして院内の業務に活用しております。
- また、地域医療連携の一環として、薬局等で退院後も経管投与を継続されている患者の皆様に対しての服薬支援にもお役立ていただけるよう、ホームページ上に一般公開しております。
- ・原則として当院薬剤部においてチューブ通過性を検討した報告であり、簡易懸濁された薬剤を臨床的に使用した場合の有効性・安全性の評価は行っていません。医療従事者の方々が本データを活用される際には各自の判断と責任のもとご利用ください。
- なお、業務以外の目的での利用や無断転載はご遠慮ください。
- ・本データベースへのリンクを希望される際は、本pdfファイルへ直接リンクするのではなく、本pdfを掲載している当院薬剤部ホームページへのリンクとしてください。
（なお、リンクを貼られる際は当院薬剤部へご一報ください）
 - ・赤字で記載している薬剤は、ISO規格のチューブ(ニューエンテラルフィーディングチューブ ISO 80369-3 ENFit（製造販売元：日本コヴィディエン株式会社）)を使用した試験結果です。